

高齢者サロンに音楽ユニット「げんきなこ」が登場 離島活性化の学生プロジェクトが実施する活動で 【1月25日、豊浜まちづくりセンター（呉市豊浜町）】

広島国際大学（学長：焼廣益秀）の学生によるサロン活動などを通じて離島を活性化させるプロジェクト『瀬戸内イキイキ』プロジェクトが、1月25日に実施する「お茶の間わいわいサロン」に、パーキンソン病を患いながら活躍する夫婦の音楽ユニット「げんきなこ」が登場します。医療を学ぶ学生による健康チェック・転倒予防の健康教育のほか、「げんきなこ」によるミニコンサートを行い、交流を深めます。

「げんきなこ」の夫の元気さんは、病気を抱えたことで失意の底に沈みみながらも、好きな楽曲づくりを通して立ち直りました。その音楽が聴く人を元気づけています。

元気さんと同プロジェクト顧問の白木智子准教授（看護学科）に親交があったことから、白木准教授がプロジェクトのテーマソング制作を依頼し、「わらって生きよう」が完成しました。

本番当日はトークをはさみながら、この曲を含めた数曲を披露します。



看護学科の授業で講演する「げんきなこ」（2019年7月）

つきましては、概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

.....【概要】.....

1. 実施日時：2020年1月25日（土）13：00～15：00
2. 場 所：豊浜まちづくりセンター2階（呉市豊浜町大字豊島3526-15）
3. 参加者：約60人
4. プログラム：13：00～ 健康チェック（血圧・脈拍・SpO2・握力）
13：20～ 「げんきなこ」ミニコンサート
14：00～ 転倒予防の健康教育

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 看護学科 准教授 白木智子
TEL：0823-73-8367 / 呉市広古新開5-1-1

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927